

ステンレス製床板用グレーチング 歩行用 FB


●限界スパン表

| 型式 | メインバーの寸法mm | メインバーピッチmm | 質量kg/m ² | 許容たわみ | 設計荷重 | | | |
|---------|------------|------------|---------------------|-------|---|-------|---|-------|
| | | | | | 3.5kN/m ² (357kgf/m ²) | | 5.0kN/m ² (510kgf/m ²) | |
| | | | | | 限界スパンmm | たわみmm | 限界スパンmm | たわみmm |
| FB30-20 | FB20×4 | 30 | 25.6 | 1/300 | 1070 | 3.5 | 950 | 3.1 |
| | | | | 1/500 | 900 | 1.7 | 800 | 1.6 |
| FB30-25 | FB25×4 | 30 | 31.4 | 1/300 | 1340 | 4.4 | 1190 | 3.9 |
| | | | | 1/500 | 1130 | 2.2 | 1000 | 1.9 |
| FB30-32 | FB32×4 | 30 | 40 | 1/300 | 1720 | 5.7 | 1530 | 5.0 |
| | | | | 1/500 | 1450 | 2.9 | 1290 | 2.6 |
| FB30-38 | FB38×4 | 30 | 46.8 | 1/300 | 2040 | 6.7 | 1810 | 5.9 |
| | | | | 1/500 | 1720 | 3.4 | 1530 | 3.0 |

- ❖たわみ1/500 (人が歩行時に不安を感じないたわみ) 人の歩行の頻度が多い場所。
- ❖たわみ1/300 (人が歩行時に多少不安を感じるたわみ) あまり人が歩行しない場所。
- ❖限界スパンは使用する諸条件によって異なりますので、あくまで上記の1/500・1/300は参考です。

●歩行仕様

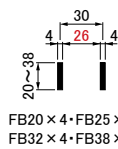
※9.80665N=1kgfにて計算

| 設置場所 | 荷重条件 | 荷重 |
|---|------|---|
| 歩行  | 等分布 | 3.5kN/m ² (約357kgf/m ²) |

※
建築基準法施行令第85条
(イ)の欄(5)その他の場合の
数値を適応。
詳細は資料編21-44ページ参照。

●メインバーの詳細

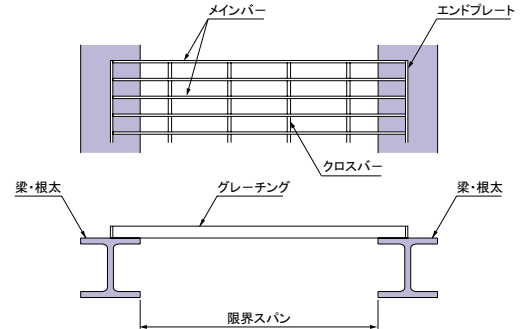
ノンスリップタイプも製作できます。



FB20×4・FB25×4
FB32×4・FB38×4

●備考

- 床板用グレーチングは、基本的にメインバーの両端部に梁・根太等の受けを必要とし、梁・根太等の支間は各グレーチングの限界スパン値を越えないようにしてください。



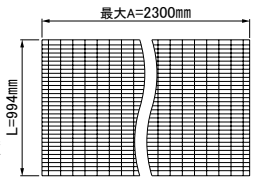
- グレーチング1枚あたりの

最大寸法は、
2300mm×994mm以内に抑えて
ください。

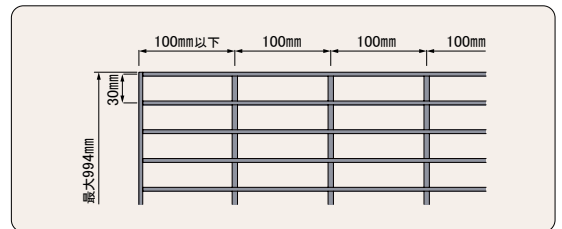
- グレーチングの運搬時・敷き込み時のグレーチング質量を考慮してください。

(質量は●限界スパン表参照)

- グレーチングは、蓋1枚あたり4ヶ所、クリップ等にて固定してください。
(7-9ページ 固定例参照)



●エンド部加工



●経済的寸法について

普通目ピッチ@30(H=20・25・32・38)

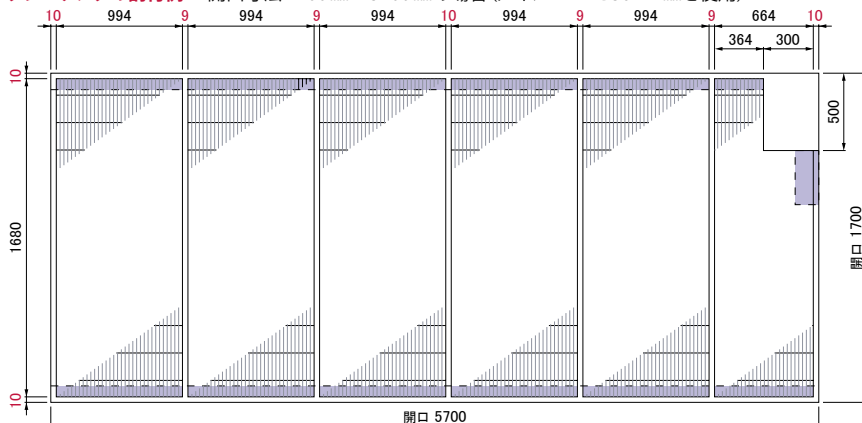
- グレーチングのL寸法は、経済的寸法のL=994または、484を多くご使用ください。
- その他のL寸法とする場合は、メインバー目取表の目取りの良い寸法としてください。
- L寸法が標準以下となる場合は、L=394を最低寸法の目安としてください。
- グレーチングとグレーチングの間のクリア(スキマ)にて調節してください。(クリア6mm~25mm)
- A寸法については、A=1000, A=1500, A=2000が経済的です。



メインバー目取表

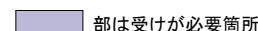
| メインバーの本数/本 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 |
|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| メインバーの幅/Lmm | 394 | 424 | 454 | 484 | 514 | 544 | 574 | 604 | 634 | 664 | 694 | 724 | 754 | 784 | 814 | 844 | 874 | 904 | 934 | 964 | 994 |

グレーチングの割付例 開口寸法 1700mm×5700mmの場合(メインバー FB38×4mmを使用)



グレーチングを上記のように効率の良い寸法にし、
両端のクリアは10mm程度、
グレーチングとグレーチングの間のクリアは均等に
振り分けてください。

グレーチングの片側の標準受幅は、50mm程度を
お勧めいたします。
中間の受材の幅は100mm以上をご使用ください。

 部は受けが必要箇所